

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 8 年 3 月定例会	
議案番号 議案名	議案第 61 号 令和7年度松戸市松戸競輪特別会計補正予算(第1回)
議員名・会派名等	日本共産党 ミール計恵
賛否態度	反対
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>私たち日本共産党は、本会議および委員会での討論という本来の発言を最大限に活かすことこそが議員の責務と考えます。非公式の場に、議会で発言してもいない意見を掲載するというやり方は、議員自らが議会における議論を軽視する行為であるという考えから、以下、本会議や委員会などの公の場で討論した内容を掲載します。</p> <p>本議案は競輪事業において売り上げが好調で、67億円もの増額補正をするものです。最近は毎年のように増額補正されており、審査ではその推移や購買者の年齢層など購買の傾向と実態、およびギャンブル依存症の対策などについて聞きました。</p> <p>まず、インターネットの売り上げの推移ですが、2022年度 約271億円、2023年度 約289億円、2024年度 約326億円と毎年増加を続け、全体の売り上げに占めるインターネットの割合は 85%前後となっています。一方で本場の売り上げは 1.5%と割合は変わりません。ほぼインターネットでの購入ということがわかります。</p> <p>またネット投票での購入者数や年齢構成は把握できないということですが、増加傾向ではないかとのことでした。</p> <p>さらにギャンブルで問題になるのはギャンブル依存症です。審査ではその実態と対策についても確認しました。</p> <p>まずギャンブル依存症の相談件数としては松戸競輪場では3年間で0件、全国でも数件ということで、実質的にはこの相談は機能していないと言わざるを得ません。なお相談内容は主にネットへのアクセス制限に関するものということでした。</p> <p>そのアクセス制限の実態ですが、2年間で松戸は0件、一方全国では6年度で800件、令和7年度は1月末現在で726件もあるとのこと。全国ではかなりのアクセス制限が行われていることが明らかになりました。</p> <p>以上から、売り上げは増加しているが、その年齢、購入額などについてはほとんど把握できていないこと、また依存症対策も全国の対応中心で、松戸での対応は相談件数が0件で相談実績が全くないことがわかりました。これではギャンブル依存症のリスクへの対応は全く不十分であると言わざるを得ません。</p> <p>なお松戸競輪のホームページを見ると、相談のページはトップページにはなく、またメールのアドレスも手で入力しなければなりません。そこで提案ですが、相談メールにすぐつながるようにシステム改修をしたらどうでしょうか。またはQRコードで相談フォームに飛ぶようにするなど、ぜひ検討してほしいと思います。</p>

以上、売り上げや相談の実態を確認し問題点を指摘しましたが、そもそもギャンブルに財政を頼ることは健全な市財政のあり方とは言えず、またギャンブル依存症という深刻な問題の発生の危険が常にあり、またその対策も不十分であるため容認できません。

したがって、一日も早いギャンブルからの撤退を求め、本補正予算にも反対いたします。